



2020年5月7日 JFE エンジニアリング株式会社 J&T環境株式会社 協栄産業株式会社

J&T環境株式会社と協栄産業株式会社の合弁会社の設立について ~B to B シフトに貢献する国内最大のペットボトルリサイクルレジン製造工場新設

JFEエンジニアリング株式会社(代表取締役社長:大下元、本社:東京都千代田区)の子会社であるJ&T環境株式会社(代表取締役社長:露口哲男、本社:神奈川県横浜市)と、協栄産業株式会社(代表取締役社長:古澤栄一、本社:栃木県小山市)はこのたび、ペットボトルリサイクルレジン*1製造合弁会社を設立しました。

昨今のプラごみによる海洋汚染問題への対応や、持続可能な社会実現のため、飲料メーカー各社は 2030 年度までに、ペットボトルの原料を石油由来樹脂からリサイクルペットレジンにシフトしていくと宣言しています^{※2}。このような状況を踏まえ、日本で初めてメカニカルリサイクル^{※3}によるボトル to ボトル(B to B)^{※4}技術を確立した協栄産業と、長年にわたり同社へ原材料を供給してきた J&T 環境は、その実現に貢献すべく合弁会社を設立し、新工場を建設します。新工場はペットボトルリサイクルレジン製造工場としては国内最大級で、JFEエンジニアリンググループと協栄産業グループにとって初の中部・関西圏の拠点となります。

1. 合弁新会社の内容

- 合弁会社の設立日 2020年4月15日
- ② 合弁事業の概要 使用済ペットボトルのマテリアルリサイクルによるフレーク製造の他、メカニカルリサイクルによるペレット製造を行い、飲料ボトルや繊維メーカー向け高機能繊維用としてリサイクルペットレジンを供給

2. 合弁会社の概要

① 商号、本店所在地

商号:協栄J&T環境株式会社工場名称:西日本MRファクトリー

所在地:三重県津市(JFEエンジニアリング(株)津製作所内)

② 資本金、決算期

資本金 :1億円(資本準備金:4億円)

決算期 :3月

③ 代表取締役

代表取締役会長 露口 哲男 代表取締役社長 古澤 栄一

④ 持株比率

J&T環境株式会社 51% 協栄産業株式会社 49%

⑤ 生産能力 4~5万t/年

3. 合弁会社の基本方針

2011 年にスタートした「飲み終わったペットボトルをもう一度ペットボトルに戻す」、いわゆるボトル to ボトルは、リサイクル技術を一層高度化させ、ゴミを出さず焼却の必要がない完全循環モデルとして、廃ペットボトル問題解決に大いに貢献しています。

そのため容器メーカーや飲料メーカーは、従来使用してきた石油由来樹脂をリサイクルレジンに切り替える取組拡大を、近年そろって表明しています。

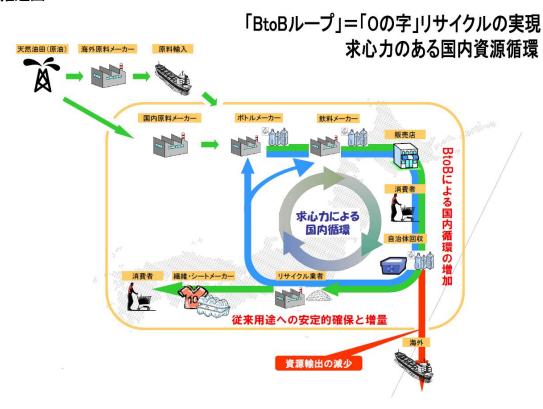
リサイクル原料の 2030 年における国内目標量合計は現市場規模の約 7 倍に当たる 40 万トンともいわれていますが、本合弁会社はその取組を原料供給の面から力強く支えて行くことを第一の目的としております。

また、世界を魅了するトップアスリート達が着るユニフォームの原料としても近年リサイクルペットレジンが多く使われますが、これには他国に無いきれいな国内回収 PET ボトルと私たちの高度な異物除去技術、そして国内繊維メーカーの優れた製糸技術が不可欠です。こういった日本の優れた文化や技術が生かされる用途への原料供給も重要な目的の一つと位置づけております。

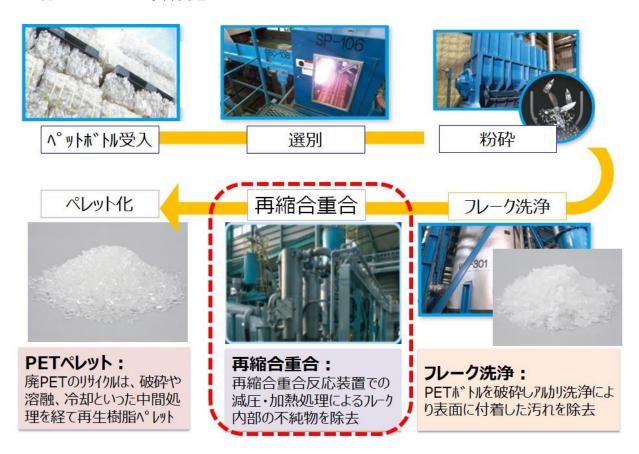
なお、本合弁会社は、コンプライアンスを遵守した透明性の高い企業活動を展開し、お客様との信頼関係を構築することを事業運営の基本とします。上記目的達成のために事業を推進する中で、CO2排出量の削減や枯渇性天然資源の使用量抑制に貢献し、持続可能な社会作りに役立てるよう努めて参ります。さらに、日本国内での新工場建設の水平展開および海外での事業展開を図り、業界トップの企業となることを目指して参ります。

- ※1 ペットボトルをリサイクルするため、破砕、洗浄、乾燥したものがフレーク、フレークを溶かして品質を均一化した粒状のものがペレット、ペレットから水分を取り除いたものがレジン(樹脂)
- ※2 2018年11月 清涼飲料水業界「プラスチック資源環境宣言」より
- ※3 メカニカルリサイクルとは、マテリアルリサイクル(使用済みの製品を粉砕・洗浄などの処理をして、新たな製品の原料とすること)で得られた再生樹脂を、さらに高温、減圧下で一定時間の処理を行い、再生材中の不純物を除去する方法。
- ※4 使用済みペットボトルを原料としてペットボトルを再生すること

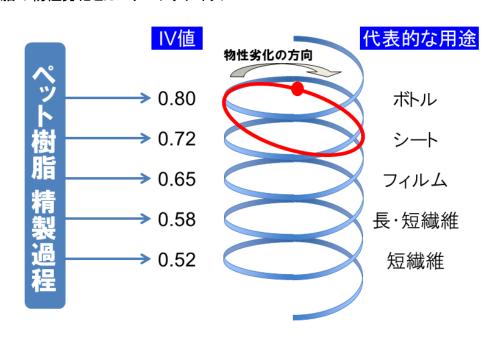
■BtoB 推進図



■再生ペットボトル原料製造フロー



■ペット樹脂の物性劣化とカスケードリサイクル



以上